

小学部の進路指導

I 小学部における進路指導の考え方

- ① 将来、健やかに充実した社会生活を送るための素地を養います。
- ② 児童一人一人の成長段階に合わせて、様々な力を伸ばす取組をし、将来の就労選択の幅を広げられるようにします。
- ③ 将来の幅広い可能性を考慮した情報を提供し、保護者の方と共に児童の将来について考えていきます。



2 学校での活動（例）

●日常生活の指導●

活動内容	「着替え」「排せつ」「食事」「挨拶」「集団生活」等
ねらい	・身の回りのことが自分でできる。 ・より良い対人関係を築き、円滑なコミュニケーションがとれる。

●生活単元学習●

活動内容	「季節」「行事（遠足、運動会、さおり祭り等）」 「校外学習・買い物学習」「社会見学」「宿泊学習（5年）」 「修学旅行（6年）」他、生活全般に関する学習
ねらい	・季節感を味わったり自然や生物に興味をもったりできる。 ・決められた役割を理解し、見通しをもって活動に参加できる。 ・友達と一緒に決まりを守って集団活動に参加できる。 ・公共施設や公共物の利用のルールが分かる。 ・自立に向けた気持ちが育つ。



●遊び●

活動内容	「外遊び（遊具、道具等）」「縄・リング遊び」「木の实遊び」 「感触遊び（水、シャボン玉等）」「乗り物遊び」 「風船・ボール遊び」等
ねらい	・遊具や道具を正しく使って遊べる。 ・順番や貸し借りなど、ルールを守って遊べる。 ・いろいろな素材に親しみ、感触を楽しめる。 ・友達と同じ場所で遊び、道具や材料の準備や後片付けができる。



働く人

高学年では「働く人」の単元があります。

6年生で県のキャリア教育推進事業『ふれあい発見推進事業』を行っています。地域の企業で働く人を見学することで、身の回りの仕事や働く人に興味・関心をもつことをねらいとし、普段見られないスーパーのバックヤードなどで働く人を見学します。



※ 目標は個人によって違いますので、目標にしていること、活動の過程、達成したことなどは、連絡帳や個別懇談などで担任から保護者の方にお知らせしています。